

世界糖尿病デーイベントin小豆島を開催しました




毎年11月14日は、世界糖尿病デーです。それにともない、香川大学医学部附属病院主催のイベントを開催しました。テーマは「糖尿病治療への知識づくり」として、大学から村尾教授、糖尿病内科医師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士の先生方が来られ、それぞれの担当分野における視点から糖尿病についての講演を行っていただきました。

また、昼食会では主食を摂りすぎないように配慮し野菜や地元の様々な食材を使ったお弁当を用意して、食事を作る時のポイントや食べる時に注意することを確認しながら食事をとっていただきました。

たくさんの皆さまにお越しいただき、糖尿病に関する知識を勉強していただきました。



白米	トマト
鯛子バター焼き	茄子田楽風
だし巻玉子	海老天
かまぼこ	焼き豚
鶏肉五色巻き	ブドウ
ほうれん草胡麻和え	
ごぼうサラダ	
ささみ梅シソカツ	
豆腐ハンバーグ	
ブロッコリー	



マタニティクラスのご案内

(予約制)

1コース (妊娠25週くらいまでの妊婦さん対象)

内容：妊娠の生理、妊婦健診について、妊娠初期の注意
妊娠中の栄養、妊娠中の歯の健康、母子手帳

担当者：産婦人科医師、助産師、管理栄養士

実施予定日：平成29年12月14日(木)、

平成30年 1月11日(木)

2コース (妊娠25週以降の妊婦さん対象)

内容：分娩の経過と産後、呼吸法およびリラックス法、
当院の分娩、お乳の手入れ、入院中の生活、
赤ちゃんについて、施設の見学

担当者：産婦人科医師、小児科医師、助産師

実施予定日：平成29年11月30日(木)、12月21日(木)

※緊急手術や分娩等により、やむなく変更する場合があります。事前に日程の確認をしてお越しください。

問い合わせ先：産婦人科



病院職員募集のお知らせ

小豆島中央病院では職員の二次募集(平成30年度採用)を行っております。

小豆島の医療を支える一員として、私たちと一緒に働きませんか？

試験日

第1次試験 平成29年12月16日(土)

第2次試験 平成30年 1月13日(土)



応募締切

平成29年11月30日(木)

募集職種

助産師・看護師・准看護師・介護福祉士・看護補助者・
薬剤師・作業療法士・社会福祉士・一般行政職(施設管理)

申し込み・問い合わせ先：人事・秘書課

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

<https://scha.jp/recruit/>



高原二郎先生が日本神経内分泌学会「特別功労賞」を受賞されました

平成29年10月21日（土）に開催された、第44回日本神経内分泌学会総会において、当院内科医 高原二郎先生が特別功労賞を受賞されました。

この賞は、神経内分泌領域において長年に亘り、学会の指導者として著しく貢献した方に贈られるものです。

今後ますますのご活躍を期待申しあげ、その経験と知識で当院スタッフの更なるご指導をお願いしたいと思っております。高原二郎先生、誠におめでとうございます。



職員紹介



画像情報科

山下 将人（やました まさと）

コメント

診療放射線技師に從事しております。
患者様並びに地域住民の方の健康の一端を担えればと日々努力して参ります。



画像情報科

楠 健一郎（くすのき けんいちろう）

コメント

主に健診やCTなどを担当しています。
今年の祭りは雨でしたが、島の人たちの気持は十分に伝わったと思います。
これからも島の元気を支える一人としてがんばりたいです。

《 お 知 ら せ 》

◎休診について

耳鼻咽喉科 11月30日（木）午後 休 診
外 科 12月11日（月）休 診
皮 膚 科 12月14日（木）休 診

◎代診について

泌尿器科
12月 4日（月）午前 荒井医師 → 三浦医師
小 児 科
12月13日（木）富田医師 → 山本医師
12月18日（月）山本医師 → 原田医師

◎インフルエンザ予防接種予約について

ワクチンの流通事情により、インフルエンザ予防接種の予約受付は、下記のとおりとなります。

【小児科】

現在、予約受付は中止しています。
再開時は、院内掲示・ホームページ・LINEでお知らせします。

【大人】

11月14日をもって予約受付は終了です。
予約していない方の予防接種は、今後のワクチンの確保状況により実施しますので、**11月27日以降**、総合受付までお問い合わせください。

※すでに予約している方のワクチンは、確保していますので、予定どおり接種します。

臨床心理士のひとことコラム No.6 ～相談すること～

私たち人間は、無意識のうちに様々な種類のコーピングを試し、少しずつ「その人らしい」コーピングをかたちづくっていきます。徹底的に原因を突き詰める、無視をする、ふて寝する、博打を打つ、スイーツを頬張る、爆買いする、草抜きに没頭する、twitterにつぶやく、瞑想する…。ある問題に対処するためのあらゆる行動が、その人特有のコーピングであると言えます。そして、そのコーピングがうまく効く場合もあるし、そうでない時もあります。自分ひとりで持ちうる対処行動が、どうもうまくいかない場合、だれか信頼できる他者に「相談する」ことが有効な場合があります。これは、それまでの自身の対処行動のパターンを振り返り、新たなコーピングの種類を獲得することになるからです。

臨床心理士は、そのような営みを支援する専門家です。臨床心理士への相談を希望される場合は、まず主治医にご相談ください。

◆編集後記◆

11月に入り一気に冷え込みが厳しくなりました。この間まで、半袖の体操服を着たがっていた子どもが、長袖の体操服を着ても寒い寒いと言いつつ、朝から着替えもせずにコタツに丸まっている光景を毎朝見えています。

皆さま、寒さが日に日に厳しくなってきました。手洗いうがいをして、早めの風邪予防を心がけましょう。

編集担当



【問い合わせ先】

小豆島中央病院 ☎75-1121

土庄診療所 ☎62-1212

内海診療所 ☎82-2123

ホームページ <https://scha.jp/>

LINE 右記のQRコードを読み込んでください
ご登録よろしくお願ひいたします

